

グリスニップル国内シェアNO.1

“人を活かし、製品を活かし、社会に活かされる企業になる”

株式会社 三和金属工業



SANWA METAL INDUSTRY Co., Ltd.
株式会社 三和金属工業



本社外観（松原市）



株式会社 三和金属工業

代表取締役社長：北山 芳守 氏
本社：松原市三宅東3丁目2番40号
創業：1945年（昭和20年）
従業員数：本社 76名

タイ現地法人 45名

事業内容：グリスニップル、プレーキライニングリベット、油圧・潤滑・空圧配管継手、ハブボルト&ナット、自動車・特殊車両部品建設機械部品、工作機械部品、船舶部品、医療機器部品の製造および販売

1945年創業の株式会社三和金属工業は、第二次世界大戦の終戦時から日本経済の発展とともに成長を遂げてきました。グリスニップルを主力製品として、高い技術力と信頼度の高い販売・技術ネットワークを武器に、国内にとどまらず、海外へと活躍の場を広げています。今回は代表取締役社長の北山芳守氏にお話を伺いました。

— 終戦とともに

グリスニップルとの出会い

1945年8月15日、第二次世界大戦終戦と同日に私の祖父である北山栄氏が創業いたしました。大阪大空襲によって大阪市内は大きな被害を受けましたので、当時自宅のあった松原市に工場を建設し、船舶・発動機部品を製造するようになったのが当社の始まりです。

1949年、当社の主力製品となるグリスニップルの製造を開始しました。この製品は自動車や建設機械などの可動部分に給脂するために取り付けるメンテナンス部品です。製造のきっかけは、当時、ある自動車部品商社よりお声かけ頂いたことだと聞いております。

その後、国内外のお客様に広く販売させていただき、品質、技術力を高め実績を積み重ねてきたことから、現在では大手自動車メーカーやベアリングメーカーの純正品として納入させていただいております。

現在、当社はグリスニップル製造のリーディングカンパニーとして国内シェアの約50%を生産する企業へと成長を遂げてきました。技術者の育成を積極的に進めるとともに、時代の変化に応じて機械でできることを自動化することで生産性を高め、安定した生産体制を確立しました。また、取引先企業とのご縁を強固なものにしながら、新

規取引先を開拓してまいりました。



グリスニップル他 当社製品（一例）

— 技術ネットワークを駆使して

お客様のニーズに応える

弊社はメーカーでありながら、提案営業に力を注いでいます。お客様の真のニーズを追求し、そのニーズに応えるため、自社だけでなく、長年の信頼関係で結ばれた100社を超える協力企業との連携で、広範な技術ネットワークを有しております。そのため、多数の工程を一気通貫で対応することが可能です。生産工程をトータルコーディネートする提案は好評をいただいております。

例えば、当社が主体となって手掛けた製品の中に、医療器用の鍛造部品があります。こちらの製品は、加工方法をレーザー加工から鍛造へ変更する提案をいたしました。鍛造メーカーの協力を得て製造することで、結果と

100年企業へ向けて...創業精神で攻める

当社は2018年に70周年を迎えました。当社が着実に努力を重ねてきた証しだと思います。しかしながら、世の中は絶えず変化を続けています。当社のグリスニップルが使用されている自動車業界では、すでに電気自動車への移行が始まっています。現状維持ではなく、創業精神をもって新たな一步を踏み出す必要があると感じます。これまで培ってきた技術・ノウハウやネットワークを活用しながら、付加価値を追究していきます。時代は変わってもモノづくりはなくなるはず değildir。これまで培ってきた技術をどう活かすことでこれから世の中に貢献できる会社であり続けられるのか、全員で力を合わせ考えていかなければなりません。社内外からの刺激を受けて、これからの技術革新に柔軟に対応できるモノづくりに取り組んでいくつもりです。



自社製品について説明される、北山社長(左)と
タイ工場長の北山尚之氏(右)

してコストダウンに成功しました。

お客様に関しましても、自動車、建設機械から半導体や食品、医療業界など多岐に渡ります。現在のように変化の激しい時代に生き抜くため、多くの業界との繋がりがリスク分散となり、当社の強みとなっています。

— 日本から海外へ

広がる活躍の舞台

2011年、当社はタイに現地法人を設立いたしました。取引先である日本企業の多くがタイやインドネシアに生産拠点を拡大していましたので、現地で当社製品を求める声に迅速に応えるために東南アジア進出を決めました。タイへの進出を検討していた最中、現地で大規模な洪水が発生しました。自然災害は不安要素の一つではありますが、当社はこの時期に水害に強い土地を見極めて、工場建設に最適な土地を取得することができました。

工場の設立当初、グリスニップルの安定供給・製造キャパシティの確保という目標を掲げました。タイ人社員とのコミュニケーションの難しさを痛感することもありましたが、彼らとも次第に打ち解け、設立当初の目標を達成できたと考えています。これからはタイを含むアジア全域を市場として、グリスニップルの製造のみならず販売拠点と

しての充実、そして金属加工サービスの提供を進めていく予定です。

— 社員の幸せを実現したい

経営理念に込められた思い

当社の経営理念は、「人を活かし、製品を活かし、社会に活かされる企業になる。」です。当社では、毎年この理念を掲載したハンドブックを社員に配布しています。また、全体朝礼等を通じて当社の経営状況や方針を社員に伝えるようにしています。企業を動かしているのは自分たちであるという意識を持ってもらいたいと考えています。

製造業において社内教育というのは実務を通じた学習として語られることが多いように思います。しかしながら、私は、「学習=社員のための、彼らの生活をより良くするためのものでもある」ということを伝えたいです。そこで、まずは学習に対するイメージを変えたいと思い、外部のインストラクター方をお招きして健康づくりトレーニングを実施しました。これは業務でケガをすることがないような健康づくりをテーマとする学習の一環です。他にも、お金に関するセミナーなど身近なテーマの研修会に社員の参加を促すことによって、イメージは前向きなものへ変化してきたのではないかと、思います。学習に対するイメージが良くなったこ

とで、現場の社員を研修会に参加させたいという上司の声も聞こえるようになりました。実務に限らずとも自発的な学習につながれば、と思います。知識が豊富になることで、実務に役立つスキルを身に付けることができるはずです。

私は、会社が社員の家族にとっても、もっと身近な存在であればいいと思っています。近年、当社若手社員の協力もあり、夏休み中に社員のお子さんと一緒に宿題に取り組む塾のような場をもうけました。お母さん、子供さんがお父さんの会社に親しみを持ってもらえる機会になったのではないかと思います。そして、5S活動では、家族に魅せる会社にするため、綺麗にしようと声をかけています。

社員の幸せを実現することが企業発展の目的であり、100年企業への鍵であると考えています。この先も続く企業になるために考えるべき課題は山積しています。当社は、社員の幸せを実現し、お客様のニーズに応える製品を生み出すことで、社会に必要とされる企業へとさらなる成長を遂げるために挑み続けます。

— 貴重なお話をいただき、

誠にありがとうございました